

改善計画書(兼改善状況報告書)

作成日 : 平成18年5月29日

評価日 : 平成18年4月19日

グループホーム名	グループホーム ヒロセ
----------	-------------

作成者(代表)	職名 管理者
	氏名 山之内 正美

優先順位	改善項目No.		改善目標	改善に向けた計画内容	期間	評価(18年 4月 19日現在)
	自己	外部				
1	134		ホーム機能の地域への還元	ホーム認知症ケアに対して理念を持ち、認知症の理解からはじまるホームでは、認知症があっても普通に生活ができるので、そのホームの取り組みを地域の方々にお伝えしたり、在宅で苦労されている方々のお役に立つ工夫等をお伝えできる場づくりを行う。 地域密着型サービス(運営推進会議の開催)が第一歩と考えて一年計画を立てる。		運営推進会議を開催し、グループホームの地域密着型サービスとして家族介護教室や認知症でもかかわれる地域行事、奉仕活動等に参加するよう計画し、やれることから実施する。
改善済	25		確実な申し送りと情報伝達	日誌内容欄の変更	H18. 5より	以前は、職員各自が利用者ごとの申し送り事項を手帳等に記録し、口頭申し送り伝達していた。また、日誌の申し送り事項内容に巡視実施時間をその都度記入していたが、改善策として日誌内容欄に日勤から夜勤へ、夜勤から日勤へと利用者の著変事項、その他重要申し送り事項等記入できる項目欄を作成して記入できるようにし、全職員が申し送り事項の内容を共有できるよう改善した。
改善済	127		利用者の金銭管理	利用者と職員と一緒に小銭帳へ記入し、月に一回利用者及び家族に確認してもらうようにした。	H18. 5より	利用者の所持金の把握ができるようになった。
改善済	117		報告書の一連化	事故報告書とニアミス、アクシデント報告の3種類の報告書を作成していたが、ヒヤリハット報告書と事故報告書を一連化にして原因究明、再発防止の検討と分析ができる様式とし、5月より記録開始した。	H18. 5より	考えられる原因、危険回避の対策、予防対策等ケースカンファレンス等にて職員全員で今後の介護につなげるよう努力している。また、期間ごとに事故分析等を行い、改善対策を立てていく。なお、事故発生時は、今治市へ報告をする旨確認する。